

被災地6市町村における公衆電話の 利用動向調査結果

平成23年11月8日

総務省総合通信基盤局

1 調査期間

平成23年10月19日～

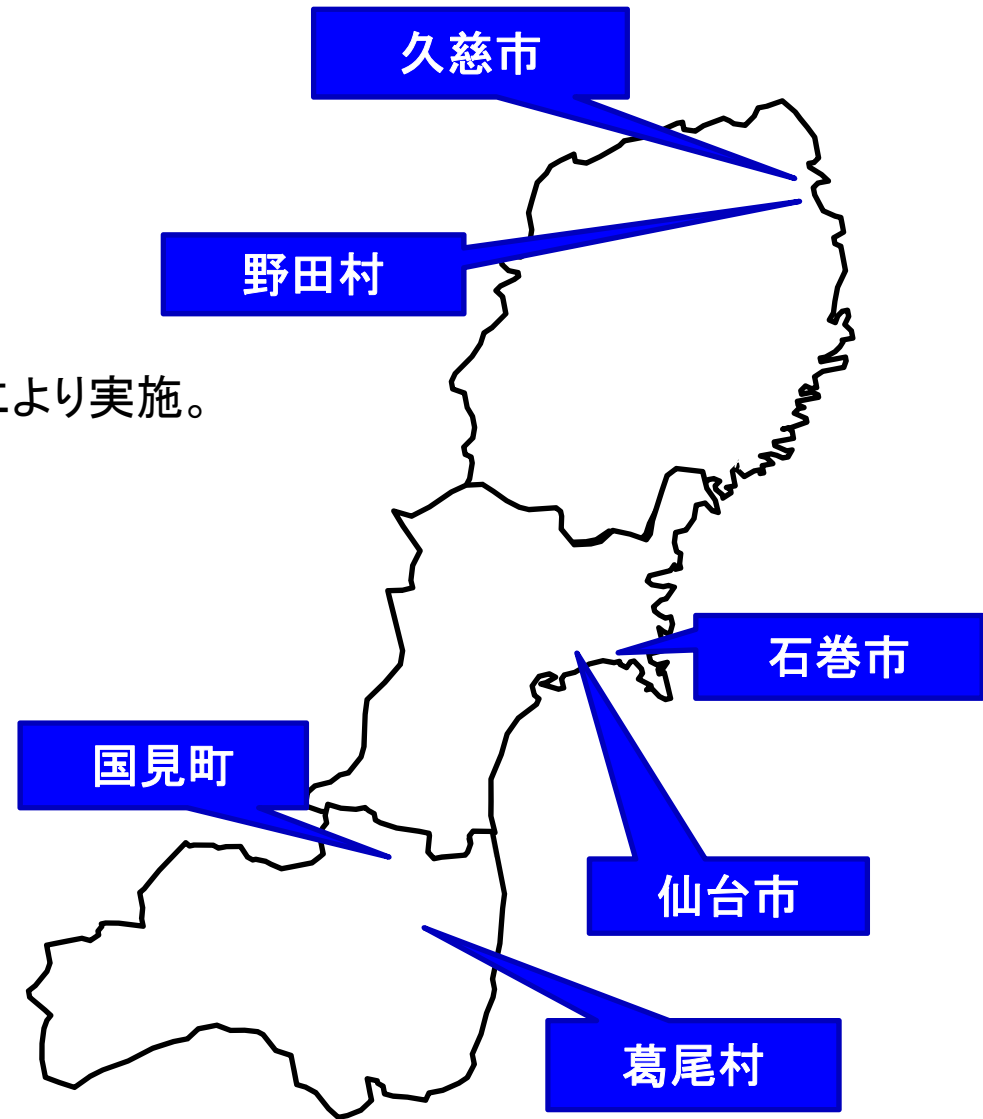
2 調査方法

調査票を送付して回答を得る方法により実施。

3 調査対象地域

東北地域6市町村

- ・ 岩手県：久慈市、野田村
- ・ 宮城県：仙台市、石巻市
- ・ 福島県：国見町、葛尾村



調査対象市町村の概要

		人口	面積	地域防災計画における公衆電話への言及の有無	特設公衆(事前配備)の設置の有無	東日本大震災後の避難所への特設公衆の設置の有無	常設の公衆電話の設置状況(H22年度末)
岩手県	久慈市	36,540人 (H23年9月)	623.14 km ²	×	○	○	97台
	野田村	4,448人 (H23年9月)	80.84 km ²	×	×	○	7台
宮城県	仙台市	1,048,792人 (H23年9月)	785.85 km ²	○	×	○	1,887台
	石巻市	151,136人 (H23年9月)	555.78 km ²	○	○	○	223台
福島県	国見町	9,992人 (H23年8月)	37.90 km ²	×	×	×	29台
	葛尾村	1,484人 (H23年8月)	84.23 km ²	×	×	×	3台

- 災害等緊急時における通信手段の確保という観点から、公衆電話に対して特別の対応をしていますか。(久慈市、野田村、国見町、葛尾村)
- 地域防災計画において「特設公衆電話の設置」として「被災地の主要場所に特設公衆電話を設置する」「市指定の避難所に特設公衆電話を設置する」と記載されていますが、このほかに災害等緊急時における通信手段の確保という観点から、公衆電話に関して特別の対応をしていますか。(石巻市)
- 地域防災計画において、避難所の連絡体制の確保として「臨時の公衆電話の設置」、または停電時の応急措置として「公衆電話の無料化を行う」と記載されていますが、このほかに災害等緊急時における通信手段の確保という観点から、公衆電話に対して特別な対応をしていますか。(仙台市)

回答	市町村名	具体的内容
特別の対応をしている。	葛尾村	緊急時等の通信手段の確保のため、公衆電話が撤去されないように留意している。
特別の対応はしていない。	久慈市 野田村 仙台市 国見町	—
地域防災計画以外では特別の対応をしていない。	石巻市	—

いわゆる特設公衆電話の事前配備について

➤ いわゆる特設公衆電話の事前配備を行っていないのはどのような理由でしょうか。

回答	市町村名	具体的内容
いわゆる特設公衆電話の事前配備を知らない。	野田村 仙台市 国見町 葛尾村	—
いわゆる特設公衆電話の存在は知っていたが、NTT東日本から提案を受けない。	該当なし	—
事前配備に相当の費用が必要であった。	該当なし	—
その他	国見町	国見町地域防災計画においては、災害時には防災無線を活用することとし、防災無線が使用できない場合は、警察無線と消防無線の使用を要請することとしていたため。
	仙台市	災害ボランティアセンター設置予定箇所にこうした意味を持つ電話の設置を検討したことがあるが、建物内の配線の費用負担が必要となったことや、NTT側からこうした回線の平時からの維持には基本料金が必要と説明を受けており、本市として断念した経緯がある。したがって、学校等避難所においてもこのような災害ボランティアセンターの事情と同様だろうと考えられ、特設公衆電話は災害が発生後に、NTTの対応を待つ必要があると考えていた。

東日本大震災における公衆電話の活用について①

- 災害時における通信手段には、一般に携帯電話、固定電話、公衆電話等があります。これらのうち、東日本大震災の際に、公衆電話が、公的機関又は地域住民の通信手段として、活用された場合はあったでしょうか。(常設の公衆電話・いわゆる特設公衆電話の別に)

回答	市町村名	具体的内容
常設の公衆電話が積極的に活用されていた場面があった。	久慈市	避難所にある公衆電話が無料になったことから、携帯電話をもっていない高齢者を中心に、利用されていた。
	仙台市	固定電話や携帯電話がつながり始める14日以前において、利用者が行列が作る光景が見られた。ただし、12日以降使用できない公衆電話も発生し始めた。
	石巻市	・震災直後、利用者が行列になるほど利用されていた。 ・携帯電話がつながらないため、代替手段として活用されていた。
	国見町	携帯電話や一般回線よりつながりやすいことから、遠方の親戚等への安否確認に活用されていた。
	葛尾村	村内が光電話化していたため、今回の震災により電話及び携帯等の使用ができなかったが、公衆電話のみ利用が可能だったため、活用件数が多かった。
いわゆる特設公衆電話が積極的に活用されていた場面があった。	野田村	固定電話、携帯電話ともに不通であったため、避難所などにおける住民の通信手段として積極的に利用されていた。
	仙台市	無料ということもあり、避難所において利用されていた。しかし、14日以降固定電話や携帯電話がつながり始めた状態で、15日から設置が開始されたため、行列ができるほどの活用はされていないと思われる。
	石巻市	・避難所において、家族の安否確認等に利用されていた。 ・携帯電話がつながらないため、代替手段として活用されていた。
	葛尾村	避難所で住民の通信手段として利用されていた。

- 公衆電話は、災害時優先電話であるため通信規制時でもつながりやすい、電話局から給電がされるため停電時でも使えるというメリットがありますが、東日本大震災の際に、こうしたメリットが活かされていた場面があったでしょうか。

回答	市町村名	具体的内容
震災当日に加入電話がつながりにくい時間でもつながりやすく、通信規制時でもつながりやすいというメリットが活かされていた。	野田村、石巻市 国見町、葛尾村	—
公衆電話が設置されている地域が停電の時でも使用でき、電話局から給電がされるため停電時でも使えるというメリットが活かされていた。	久慈市、野田村 石巻市、国見町	—
メリットが活かされていた場面はなかった。	該当なし	—
その他	仙台市	公衆電話が災害時優先電話であり、電話局からの給電により停電時でも使用できるとされているが、12日以降、使えない公衆電話が相当数存在していた。

➤ 東日本大震災を踏まえ、公衆電話(常設の公衆電話・いわゆる特設公衆電話)が災害等緊急時に有効な通信手段として機能するためのご意見、お気づきの点があればお聞かせください。

回答	市町村名	具体的内容
意見	久慈市	公衆電話は有線なので、その有線が被災すると結局使用することができない。また、電力が回復すると、ほとんどの方が携帯電話の利用になる。そのため、 <u>災害緊急時の通信手段の一つとして公衆電話は必要だが、それと同時に災害時にも強い無線設備の充実も検討する必要がある。</u>
	仙台市	いわゆる特設の公衆電話については、都内のセブンイレブンに設置した話のように有効性も話題性もあるものと認識しているが、一方で設置施設内の工事については、 <u>責任分担が曖昧、または施設側の負担が求められるなど、対応が円滑に進まない要因も存在する。</u> 特設公衆電話の考え方は、災害時に有効であると思われることから、その実施にあたり、 <u>ユニバーサルサービスの一環として障害となる部分への資金面の負担などを行うことにより、導入への障害をなくすことが必要。</u> このような対応がなされれば、各市町村への地域防災計画内で、特設公衆電話の対応を書き込みやすくなるものとする。
	葛尾村	緊急時に於いて、 <u>他の通信手段がなくなっていく中でも最後まで通信ができた。</u>
気づきの点	久慈市	<u>停電時でも使用できるという事を知らない人が多いと感じた、災害が発生すると、その利用についてのアナウンスもできないので、事前に周知しておく必要がある。</u>
	野田村	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>公衆電話については、採算性を理由として設置数が激減しているようだが非常時に活用するため、最小限の設置は必要であると感じた。</u> ・自治体や施設管理者の負担がないのであれば、<u>避難所や公共施設へ特設公衆電話の事前配備について検討することも重要と思われる。</u> ・多種多様な災害を想定し、<u>多重的な通信環境整備をするべきである。</u>
	国見町	今回の震災で、 <u>公衆電話が被災地から被災地外への連絡を行うための重要な手段であることを再認識した。</u> 特に被災地では、一般回線が不通となった場合、災害用伝言ダイヤルへの登録すら困難。(停電が続き、携帯電話の充電が困難な場合、携帯電話からのメール等の送受信も困難)このような場合に <u>公衆電話の有効性が発揮された。</u> しかし、公衆電話の特性上、電話をかけることができても、受けることができないため、 <u>双方向の連絡手段ではないので、公衆電話の機能を補完する通信手段の確保も必要と感じた。</u>
	葛尾村	<u>公衆電話施設自体に大容量のバッテリーと回線切断時に衛星回線に切り替わり衛星電話として使える機能があれば、停電や回線途絶時でも、公衆電話施設のみ無事であれば通信の確保ができるのでは。</u>